

2025 年 7 月

プレスリリース: EY と SGS が 2025 年日本国際博覧会で持続可能なガストロノミーを推進する共同プロジェクトを始動

大阪、日本 – 2025 年 7 月 – EY と SGS は、2025 年日本国際博覧会を舞台に、持続可能なガストロノミーを推進する新たな協業をスタートさせます。この取り組みでは、万博で「食の未来会議」を開催し、企業や地域社会、国際リーダーをつなぐデジタルプラットフォームを立ち上げます。持続可能な農業や水産業を支えるだけでなく、「食育と健康経営」を軸に、食と人々の暮らしを結びつけ、食を人類みんなの財産として未来に引き継ぐことを目指します。

未来を見据えた対話を広げる

食とその仕組みは、文化や経済、環境の根幹をなしています。地域に根ざしながらも、世界に影響を与える大切な存在です。気候変動や生物多様性の危機、地政学的な不安定さといった課題が迫る中、食をめぐるシステムは大きな試練に直面しています。でも、私たちはこれをチャンスに変えたい。「食育と健康経営」を通して、地域の健康や働く人たちの元気を育みながら、持続可能な食のあり方を具体的な形で社会に届けたいと考えています。そのためには、官民が力を合わせたしっかりした連携が欠かせません。

そこで EY と SGS は、日本の 47 都道府県のリーダーたちを万博に招き、企業や研究者、訪れる皆さんと一緒に本音で語り合います。誰もが恩恵を受けられる、包み込むような食の未来を築くために、何が必要か、どう進めていくか、具体的なアイデアを出し合います。食育で持続可能な暮らしへの気づきを広げ、健康経営で企業と地域が共に元気になる道筋を、この会議でしっかり見せていきます。

食の未来を一緒に描きませんか

EY と SGS は、皆さんと皆さんの組織に、この新しい対話の場へぜひ参加してほしいと願っています。食育で賢い選択を育み、健康経営で強い地域をつくる。そんな日本の、そして世界の食の未来を、一緒に描いていきましょう。詳しい情報や参加方法については、以下までお気軽にご連絡ください。

About EY Japan について...

“EY の Climate Change and Sustainability Services (CCaSS: 気候変動・サステナビリティサービス) は、気候変動やサステナビリティに関わるリスクと機会を企業が理解し、対応できるよう支援する、学際的な専門チームです。気候科学、環境政策、サステナブル・ファイナンスといった分野における深い専門知識と、業界横断的な経験を活かし、CCaSS チームは、企業がサステナビリティを中核事業に統合し、レジリエンス(回復力)を高め、環境・社会目標の達成を図りながら、長期的な価値の創出を実現するためのサポートを行っています。”

SGS について...

“SGS(社会の中で持続するガストロノミー日本・欧州フォーラム)は、世界的に深刻化する食の課題に対し、安全で健康的、そして次世代へ繋がる食の生産と消費を目指して活動する組織です。

2025 年 7 月

私たちは、生産・加工・流通・消費といった食のあらゆる段階に関わる、地域の農家や事業者、企業、大学、行政機関、レストランのオーナーやシェフ、そして私たち消費者など、さまざまな立場の人々をつなぐネットワークを築いていきます。環境にやさしく、安全で栄養価の高い食品の生産、トレーサビリティ(追跡可能性)の仕組みづくり、食品ロスの削減、多様な食文化の継承など、地域の力を活かしながら、国際的にも課題解決を推進していくことを目指します。”

連絡先情報:



EY 新日本 有限責任監査法人

CCaSS 事業部・気候変動・サステナビリティサービス(CCaSS), シニアマネージャー
フライバーグ デビッド

David.Freiberg@jp.ey.com



一般社団法人 社会の中で持続するガストロノミー日本・欧州フォーラム
事務局, 野口尚子

contact@sgs.or.jp